



AOYAMA LAW



青山学院大学法学部アメリカセミナー 〔海外研修 C／海外研修（アメリカ）〕



研修期間： 2月下旬～3月上旬の15日間

実施協力： 早稲田大学 明治大学 愛知大学 琉球大学

このセミナーは、本学法学部及び大学院法学研究科が締結した国際交流協定に基づき、ハワイ大学ロースクールで2週間にわたって実施するアメリカ法の研修です。

ハワイ大学ロースクールはホノルル市内の大学本部キャンパスにあり、ワイキキビーチから約1.5kmという絶好の環境に恵まれています。全米の有力なロースクールのなかで最も小規模の大学院として、手厚い教育指導と学習支援体制が高い評価を受けているほか、環境法分野やハワイ原住民の法的権利に関する研究等で著名であり、学生の人種構成の多様性は全米屈指と評価されています。オアフ島の豊かな自然に囲まれたキャンパスで過ごす2週間の学生生活は、アメ

リカ法に関する基礎的理解を得るだけでなく、ハワイ州独特の自然、文化、歴史等に触れる貴重な機会になるでしょう。

現地研修は、主にハワイ大学ロースクールの専任教員が担当します。現地では、共催校の学生と一緒に研修を実施するため、ハワイ大学ロースクールの教員や学生との交流だけでなく、国内他大学の学生とのネットワーキングという機会も得ることになります。



1) 研修先・研修費用

研修先： ハワイ大学ロースクール（アメリカ合衆国 ハワイ州ホノルル市）

研修費用： 約 45 万円（2023 年度見積額。アメリカの消費者物価と為替レートにより変動）

※ 授業料、宿泊費、往復航空運賃（空港諸税と燃油サーチャージを含む）、海外旅行傷害保険、旅行代理店企画料金、外国送金手数料の総額。食費、現地交通費その他雑費は自己負担。

2) 参加資格（下記の①と②の両方に該当すること）

- ① 次年度前期に在学予定である法学部・大学院法学研究科の正規学生であり、本セミナーの趣旨を十分に理解し、現地における学習活動に意欲的に取り組むことを約する者。
- ② 日常生活及び学習活動に十分対応できる英語能力を有する者。



3) 参加定員と選考

定員は10名（最少催行人数：3名）です。定員を超える応募があった場合、「参加志望理由書」と「英語能力に関する証明書類」による書類選考を行います。書類選考では前者を重視するとともに、在学中の参加機会をできる限り確保するため、学年を考慮します（ただし、上級学年の優先を保障するものではありません）。

なお、申込者数が最少催行人数に達しなかった場合、7月下旬に第2次申込期間を設定しますが、それでもなお最少催行人数に達しないときは7月31日までに開催中止を決定します。

4) 説明会と申込手続

参加申込書・誓約書（必須）、参加志望理由書（必須）、英語能力に関する証明書類（任意）の3点を申込期間に提出してください。

	日時・場所／方法	説明／注意事項
説明会	6月上旬 対面／オンライン	参加検討の方は出席必須です。
申込期間	6月下旬 教務課法学部窓口へ提出	誓約書には保証人の自署捺印を必ず得てください。
参加者決定	7月初旬 メールで通知	
研修費用の入金期限	11月下旬 大学指定口座	

【申込書類】

- 参加申込書・誓約書（必須・書式1）
- 参加志望理由書（必須・書式2）
- 英語能力に関する証明書類（任意・書式3）

5) 単位履修と成績評価について

次年度も法学部に在籍する者には、次年度前期の「海外研修（アメリカ）」または「海外研修C」の2単位が認定されます。単位を取得するには、研修日程のすべてに参加し「研修レポート」を提出する必要があります。成績評価は「事前レポート」、現地授業及び「研修レポート」の総合評価で行います。

6) 引率担当者

岡田 直己（法学部教授）



7) 研修の内容・日程

形式・内容： アメリカ法に関する講義・演習及びフィールドワーク。使用言語は英語。

事前レポート： 出発日 10 日前までに提出 研修レポート： 帰国後 10 日以内に提出

～現地研修の日程（参考）～

Monday, Feb. 27

Dean's Welcome; Orientation and Introductions; Tour of Law School and UH Manoa Campus; Lunch with Pacific Asian Law Students Organization; Lecture, *Intro to American Law*.

Tuesday, Feb. 28

Lecture, *Comparative Japanese & US Law*; Lecture, *Native Hawaiian Rights*; Lecture, *Negotiation*.

Wednesday, Mar. 1

State Capitol; Governor Office; State Circuit Court; Goodsill Anderson Quinn & Stifel LLP [Law Firm].

Thursday, Mar. 2

Lecture, *Constitutional Law*; Lecture, *Criminal Law*; Lecture, *Legal Resources*.

Friday, Mar. 3

Lecture, *International Criminal Law*; Lecture, *Elder Law*; Mini-Symposium on Japanese Women's Issues; Evaluations.

Saturday, Mar. 4 – Sunday, Mar. 5 Excursion.

Monday, Mar. 6

Lecture, *Legal Research*; Lecture, *Women in Law in Japan*; Lecture, *Contracts*.

Tuesday, Mar. 7

Federal District Court; State Supreme Court; Judicial History Museum; Oahu Community Correctional Center.

Wednesday, Mar. 8

Lecture, *Human Rights in Asia*; Lecture, American Business Law; Lecture, *Environmental Law*.

Thursday, Mar. 9

Lecture, *A.I. Governance & Social Justice*; Wrap Up & Evaluations; Closing Lunch.

Friday, Mar. 10

Excursion.

< 参加者の声 ～「研修レポート」より抜粋～ >

- 今回アメリカセミナーに参加して多くのことを経験することができました。毎日が刺激的で、学習面はもちろん、ハワイでの生活や観光、地域の人たちとの交流、また岡田先生をはじめとする普段あまり関わることができない大学の先生との会話など、毎日が刺激的で一生忘れることのない、最高の 15 日間でした。今回の研修で学んだことを今後の大学生活、人生において活かせるよう努力していきたいと思います。
- ハワイ大学の授業はコメントを求められることがあり、積極性がなく、あてられたとしてもうまく答えられない自分が恥ずかしくなりました。ハワイ大学や他大学の学生さんの積極性にも驚きました。日本に帰ってきた今、英語の勉強をもっとしたい！という気持ちと、自分の意見をしっかり述べられる人になるために、色々なことに積極的にチャレンジしよう！という気持ちでいっぱいです。こんな受け身な自分を変えてくれたアメリカセミナーには感謝しかありません。新しい友達もできましたし、参加して本当に良かったです。
- 英語の講義ということで不安がありましたが、だからこそこの 1 年間英語に特に力を入れて勉学に励みました。目標があったからこそ勉強のモチベーションにつながりました。そのおかげもあってか教授が話す英語もディテールまで理解できたときは、授業の内容の興味深さと英語が通じる自分とで二重に満足できました。講義の一つひとつが印象的で、フィールドワークではハワイ司法の最前線で活躍されている方々とお会いすることができ、本当に貴重な体験をすることができました。私は帰国後、日本の裁判をはじめ傍聴しに行きました。法学部生としてアメリカの裁判所に行ったんだから日本の裁判所も行っておくか、という軽い気持ちで行きましたが教科書ではわからないリアルを肌で感じるすることができました。先生はアメリカセミナーに参加した生徒はその後の成績も良いとおっしゃっていましたが、いまではとても納得しています。ハワイで学んだ 2 週間はあっという間の短い期間でしたが、日本に帰ってきて一週間がたった今、これからの学業に対する意識が変わった気がします。この学んだことを糧に学問を追求する姿勢をしっかりと示したいと強く考えました。
- 間違いなく大学に入って一番充実していた 2 週間でした。朝に非常に弱い私が毎朝 6 時に起きて、朝ごはんを食べてバスに乗って、8 時 30 分の 1 限をわくわくしながら受講していま

した。だんだん耳が慣れてきて通訳なしでも授業を理解できるようになってくるのも嬉しかったですし、日本では受けることのできないアメリカ法やハワイ法の授業はどれも新鮮でした。また、日本やアジアについてアメリカからの目線で意見を聞け、自分の考えの幅が広がりました。観光やショッピングももちろん最高でしたし、この研修がなかったら出会えなかった友達もできました。日本に帰ってきてからも、勉強への意欲や新しい価値観に触れたいという気持ちが高まり、資格や英語の勉強を始め、今年の夏も短期間ですが留学に行くことを決めました。これを機会に大学生でしかできないことをやって後悔のない学生生活にしたいと思います。

- この研修に参加しなければ知り得なかった世界や得られなかったことを経験し、出発から帰国まで無事に終わることができたのは全て岡田先生のおかげです。また、メンバー全員が集まった際に先生のお話を聞かせていただいたことも、大変貴重なありがたい経験でした。このアメリカセミナーでの経験全体を通して、これからもっと熱心に法について学んでいきたい、将来の夢のためにもっと必死に勉学に勤しまなければならない、と改めて実感しました。私をアメリカセミナーのメンバーに選んでくださったこと、心から感謝しています。本当にありがとうございました。これからもご指導よろしくお願ひいたします。
- ヒューマンライツコース（現在のヒューマンライツ学科）を専攻していて、社会ではこんな人権侵害が起きている、それらの問題をどう法律で解決することができるのか、どう社会を変えていくことができるのかということを経験に限りなく幅広い分野で学んでいました。今回の経験を通して学んできた人権という問題の中から「ジェンダーというテーマに絞ってもっと深く学びたい。」「この問題を解決するために何ができるかを考えたい」と思うようになりました。結局、私たちの社会を縛っているものは法律であり、私たちはその社会の中で生きていて、自分の幸せは願うけど、その社会に残る矛盾を解決しようとはしないと書いた岡田先生の話は本当に納得だと強く感じました。自分がジェンダーの問題をこれから学んでいきたい、LGBTQ で社会に生きづらさを感じている人の助けになるにはどうしたらいいのかという問題に他人事ではなく向き合っていきたいと感じたことだけでも、一つのステップを踏み切ることができた気がします。アメリカセミナーは『勉強もがっちり、遊ぶ時もがっちり』という感じでした。法のどんなことに興味があるか、あるいは学びたいか定まっていない法学部生にとっては、自分のテーマを見つけることができる研修になると思うので是非お勧めしたいです。
- このハワイセミナーの感想として一番強く感じたのは、普通の留学で出来ることからこのハワイセミナーでしか出来ない貴重な経験まで本当に色々なことを経験できた、ということです。2週間という期間は留学というには確かに短いかもしれませんが、けれど、まずハワイ大学に留学できること自体が貴重なことであり、それに加えて州や連邦の裁判所へのツアー、そこで実際に傍聴した本物の事実認定など、このセミナーだからこそ経験出来たことはやはり印象深いです。日本を発つ前はこの2週間がこれほどまでに充実するとは考えてもいませ

んでした。また、勉強だけではないところがこのセミナーのもう 1 つの魅力です。特に青学は他大学よりもホテルの立地が良く、自由時間も多いように感じました。学習面でも多くの経験ができ、その上自由時間も多いのであれば本当に言うことがありません。一生の思い出です。ありがとうございました。

- 最初の頃は英語の授業でちゃんと理解できるかどうか不安でしたが、そのような心配は無用でした。講義は全部面白くて、裁判所見学も裁判官の方からのお話も傍聴も今後の学生生活を送るにあたり生かすことのできる貴重なものでした。授業終わりにはワイキキビーチに行ったりショッピングしたり、本当に毎日が楽しくて充実した日々を送ることができました。休日も仲間たちと出かけたりして、本気で勉強も遊びも楽しむことができました。アメリカセミナーは勉強漬けなのかと思いきや、こんなにも自由な時間があってハワイを満喫することができます。また、他の 4 大学の学生の皆さんと一緒に講義を受けるので、いい刺激をもらいながら、勉強に励むことができました。青学のメンバーとは、はじめましての人ともこんなにも仲良くなれて、かけがえのない仲間という感情が芽生えました。本当にこのメンバーで行けて良かったなと思います。岡田先生とみんなが集まって話をする会もいろいろな話を聞いて本当に楽しかったです！また機会があったら集まりたいです。アメリカセミナーは本当におすすめです！！

